

室蘭工業大学-学報

NO.644



厚真町との包括連携協力協定の様子
(3ページに関連記事あり)

2023年 6月号

目 次

◇ トピックス ◇

名誉教授称号授与式を挙行.....	1
令和 5 年度室蘭工業大学開学記念 名誉教授との懇談会を 4 年ぶりに開催.....	2
室蘭工業大学と厚真町が包括連携協力協定を締結.....	3
2023年度第 1 回コンピュータ科学フォーラムを開催.....	4
「NHK大学セミナー in室蘭工業大学」を開催.....	5
航空宇宙機システム研究センターが名古屋大学との共同研究を実施.....	6

◇ 情報・資料 ◇

令和 5 年度科学研究費助成事業の交付内定.....	7
----------------------------	---

◇ 外部資金 ◇

民間等との共同研究の受入れ.....	13
受託研究等の受入れ.....	14
その他の補助金の受入れ.....	15
奨学寄附金の受入れ.....	16

◇ 人 事 ◇

人事異動.....	17
-----------	----

◇ 学内会議 ◇

学内各種委員会等の開催.....	18
------------------	----

◇ 日 誌 ◇

学内行事・学外行事.....	19
----------------	----

名誉教授称号授与式を挙行

令和5年3月31日限り退職された高野英明氏、松本ますみ氏に対して、令和5年4月1日付けで、室蘭工業大学名誉教授の称号が授与されました。

称号授与式は令和5年5月22日(月)16時30分から本部棟3階中会議室において行われ、出席された高野英明氏に称号の授与がなされた後、学長から本学の発展へのご尽力に感謝の言葉が述べられました。



空閑学長を囲んで記念撮影

令和5年度室蘭工業大学開学記念 名誉教授との懇談会を4年ぶりに開催

令和5年5月22日(月)に、本部棟大会議室において、4年ぶりとなる名誉教授との懇談会を開催しました。

この懇談会は、開学記念行事の一環として名誉教授の先生方を招き、本学の運営に関し、意見や要望等を伺い、今後の大学運営に反映させることにより、大学運営の一層の充実、発展を期すために開催しているものです。

令和2年に入って急速に拡大した新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年までの間、中止としておりましたが、5月8日(月)から新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、4年ぶりに開催しました。

当日は、空閑学長から本学の現況説明が行われた後、本学元学長の松岡健一先生、佐藤一彦先生から、大学院博士前期課程に新設予定の共創情報学コースに関する質問があったほか、野村滋名誉教授から外部資金の獲得状況等に関する質問があるなど、活発に意見交換が行われ

ました。

会の途中には、令和5年春に瑞宝中綬章を受賞した杉山弘先生のほか、安達洋先生からご自身の近況についてお話をいただき、退職後も本学や図書館に定期的な訪問いただいていることや、現在の興味関心ごとなどについてお話をいただきました。

今年度の出席名誉教授は次のとおりです。

佐藤一彦	杉山弘
松岡健一	臺丸谷政志
徳田昭八郎	岸徳光
野村滋	村山茂幸
上田勇治	土屋勉
宮尾正大	相津佳永
安達洋	高野英明



空閑学長による近況報告



意見交換の様子



質問をする野村名誉教授



近況報告する安達名誉教授

室蘭工業大学と厚真町が包括連携協力協定を締結

令和5年5月8日(月)、室蘭工業大学と厚真町は、共に北海道胆振地域で地域振興に取り組むパートナーとして、それぞれが有する資源を有効に活用し、相互の連携及び協力を図り、地域の活性化と学術の振興、人材育成に寄与することを目的として、包括連携協力協定を締結しました。

今後は、厚真町が進める新しいまちづくりやスマートシティに向けた研究活動で連携していくとともに、引き続き、復興に向けた防災に関する連携を継続し、将来の胆振地域の課題解決から北海道全体の発展につなげることを目指しています。

包括連携協定締結式終了後、宮坂町長には、「胆振学

入門」の講師として、「胆振東部地震からの復旧・復興、そして創生へ」と題してご講演いただきました。

宮坂町長には、平成28年度から同講座の講師をお引受けいただいております。今年度も存在感のある講演に本学学部学生約100名が熱心に耳を傾けていました。

包括連携協定の協力事項

- (1) まちづくり・環境・防災に関する事項
- (2) 地域振興に関する事項
- (3) 人材育成に関する事項
- (4) その他、両者が必要と認めた事項



宮坂町長（左）と空閑学長（右）



協定締結式の様子



胆振学入門で空閑学長から宮坂町長を紹介



宮坂町長による胆振学入門の講義

2023年度第1回コンピュータ科学フォーラムを開催

2023年度のコンピュータ科学フォーラムの第1回目を、5月10日(水)に教育・研究3号館N401室で開催し、約49名が参加しました。本フォーラムは、今年度4月に発足したコンピュータ科学センターの主催により、次世代研究者挑戦的研究プログラムにおける異分野融合博士人材育成事業の一環として、実施されました。

フォーラムは二部構成で行われ、第一部として、最初に広島大学の亀田卓教授から「Ultra-Numerous Connect Technologies Using Space-Time Synchronization for Massive Connect IoT」と題して基調講演があり、時空間同期を用いた超多重接続技術とその実装について、USRPとWi-Wiモジュールを用いて説明がありました。次に、電気通信大学の藤井威生教授から「Five-Dimensional Wireless Environment Recognition and its Mobility Applications」と題して基調講演があり、3D空間の無線環境を認識し、受信信号電力の周波数・時間領域での変動を予測する5次元無線環境認識技術をモビリティアプリケーションに応用することについて説明がありました。いずれの講演も英語で行われ、また、最新の研究を

わかりやすくご講演いただき、参加者は興味深く聴き入っていました。

第二部は、「SPRINGスカラシップ研究学生によるパネルディスカッション」と題して、次世代研究者挑戦的研究プログラム採択学生が自身の研究について5～7分程度の発表を行い、パネリストとのフリーディスカッションを実施しました。発表学生は、分野間の垣根を超えた最先端の研究者とのディスカッションやアドバイスに刺激を受けるなど、キャリアアップに資するフォーラムとなり、盛況のうちに終了しました。

【パネリスト】

- ・広島大学 亀田 卓 教授
- ・電気通信大学 藤井 威生 教授
- ・東京工業大学 西尾 理志 准教授
- ・茨城大学 王 瀟岩 准教授
- ・電気通信大学 須藤 克弥 准教授
- ・室蘭工業大学 李 鶴 准教授



SPRINGスカラシップ研究学生による発表の様子



参加者との記念撮影

「NHK大学セミナー in室蘭工業大学」を開催

令和5年5月17日(水)教育・研究3号館N401室において、「NHK大学セミナー in室蘭工業大学」を開催しました。

NHK大学セミナーはNHK室蘭放送局との共催で、NHKの番組出演者を講師として派遣していただくもので、今回は「～プロフェッショナル仕事の流儀～」にご出演され、数々のリノベーション事業を手掛ける大島芳

彦さん（株式会社ブルースタジオ 専務取締役・クリエイティブディレクター）にご講演いただきました。

セミナーには学生、一般市民、企業、教職員約200名が参加し、リノベーション界の開拓者である大島氏が、地域価値創造によるまちづくりの実例などを紹介し、通常の授業では聞くことのできない貴重なお話ばかりで学生がたくさんのことを吸収できる場になりました。



大島芳彦氏



積極的に質問をする本学学生



セミナーの様子

航空宇宙機システム研究センターが 名古屋大学との共同研究を実施

室蘭工業大学航空宇宙機システム研究センターでは、国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学笠原研究室および静岡大学川崎研究室と令和5年5月8日(月)-26日(金)に本学白老エンジン実験場において亜酸化窒素(N₂O)およびエタノールをそれぞれ酸化剤・燃料とする液体デトネーションエンジンの燃焼試験を実施しました。15日間の実験期間中には室蘭工業大学、名古屋大学、静岡大学から総計20名程度の教職員、学生が参画し、協働で試験運用に臨みました。また日程期間中にはJAXA宇宙科学研究所観測ロケットチーム担当3名もプロジェクト進捗確認のため実験場を訪れました。

当該エンジンは令和6年度にJAXA/ISAS観測ロケットで宇宙空間に打ち上げられ、世界初の液体燃料・酸化剤によるデトネーションエンジンの動作実証を目指すものです。

これまでの試験シリーズでは主として着火タイミングの確立、長秒時燃焼におけるC/C複合材内壁の耐熱性確認を行いました。これらの成果を踏まえ、今回の試験シリーズでは前半期間に3種類の燃料噴射器を用いたデトネーション発生の有無への影響調査を実施し、その後5月17日(水)からはフライト時と同じ型式のタンク・バルブを用いたBreadboard Model (BBM) 試験設備を用いて必要量の燃料を正確に充填する手順の確立およびエンジンを縦置きした状態での燃焼試験を実施しました。

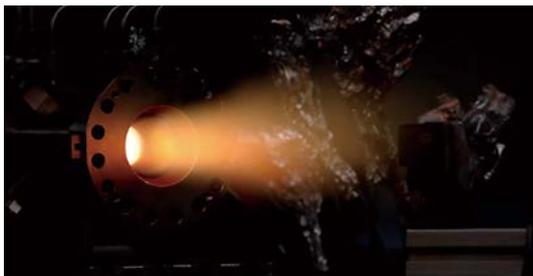
燃料充填工程では室蘭工業大学で事前実施した透明タンクへの充填試験結果を参考にタンク上部のバルブ開度を決定し、精度よく充填量をコントロールすることができました。また、縦置き形態の燃焼試験では地面からの火炎反射や、エタノールが地面に溜まることによる後燃えなどの影響を排除する必要がありますが、室蘭工業大学の学内燃焼試験*でこれまでに培った火炎デフレクターなどのノウハウを活かし、無事に燃焼試験を終えることが出来ました。

本研究で得られた成果を元に、今年度中には実際に宇宙実証するフライトモデルの最終地上試験を白老実験場で実施予定です。

*ガスジェネレーター60秒燃焼試験 (令和5年3月3日(金)実施)

https://u.muroran-it.ac.jp/aprec/pdf_files/20230303Fire19.pdf

本研究は国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構戦略経費「デトネーションキックモーター観測ロケット軌道投入実証」および科学研究費補助金特別推進研究「自律圧縮型デトネーション推進機の物理解明:高次統合化観測ロケット宇宙飛行実証展開」の経費により実施されたものです。



デトネーション燃焼試験 (5/17実施、Run47、15秒燃焼)



BBM縦置き燃焼試験 (5/25実施、Run106、3秒燃焼)



保安写真 (5/25撮影、Run106終了後)



計測室内の様子 (5/25撮影、Run106燃焼試験中)

令和5年度科学研究費助成事業の交付内定

《新規分》

(千円)

区分	研究代表者 所属・職・氏名	研究題目	直接経費 内定額	間接経費 内定額	合計
基盤研究(C)	もの創造系領域 教授 有村 幹治	エッジ/クラウドAIによるリアルタイム冬期道路交通移動支援プラットフォームの構築	2,000	600	2,600
	もの創造系領域 教授 中津川 誠	既存ダムの総力をあげた治水のための流入量予測手法の普遍化	1,300	390	1,690
	もの創造系領域 教授 花島 直彦	丈長植物密生地を対象とした展開脚と螺旋機構のハイブリッド式移動機構	1,400	420	1,820
	もの創造系領域 教授 渡邊 浩太	超高速数値解析&位相最適化が可能にする次世代モータ開発	2,200	660	2,860
	もの創造系領域 准教授 榎原 浩平	パーソナルサーマルマネジメントシステムに適用可能な平均皮膚温予測モデルの開発	1,400	420	1,820
	もの創造系領域 准教授 佐藤 孝洋	確率共振の活用による浮体式波力発電システムの高稼働率化	2,700	810	3,510
	もの創造系領域 准教授 高瀬 裕也	AIによる新設計法の提案を目指した劣化・損傷・補修を複雑に経験したRC梁の力学特性	900	270	1,170
	もの創造系領域 准教授 溝端 一秀	クランクアロー超音速機形状の動的空力にかかる周囲流れの空間的・時間的メカニズム	2,000	600	2,600
	もの創造系領域 准教授 湯浅 友典	酸素飽和度をクラウド検出する進化型データベース皮膚分析システム	1,300	390	1,690
	しくみ解明系領域 教授 戎 修二	希土類硫化物が示す特異物性の起源解明と準安定状態制御・積極利用による巨大物性応答	1,200	360	1,560
	しくみ解明系領域 教授 亀川 厚則	貴金属触媒を凌駕する超効率アンモニア合成のための非貴金属/希土類水素化物触媒の開発	1,500	450	1,950
	しくみ解明系領域 教授 CHANG Young-Cheol	芳香族・脂肪族塩素化合物を完全分解する微生物コンソーシアムとPHB生産方法の確立	1,800	540	2,340

区分	研究代表者 所属・職・氏名	研究題目	直接経費 内定額	間接経費 内定額	合計
基盤研究(C)	しくみ解明系領域 教授 中野博人	創薬に向けた光学活性スピロオキシインドールの多成分触媒を用いない不斉合成法の開発	1,800	540	2,340
	しくみ解明系領域 准教授 岡田吉史	心電図を用いて多種類の心疾患の識別を実現する軽量な深層学習モデルの開発	1,100	330	1,430
	しくみ解明系領域 准教授 柴山義行	ウェルコントロールな量子渦による量子流体のダイナミクスの解明	1,800	540	2,340
	しくみ解明系領域 准教授 李鶴	超低消費電力IoTシステムの研究開発	1,000	300	1,300
	しくみ解明系領域 助教 高岡旭	幾何的交差グラフに関するアルゴリズム的研究	600	180	780
	ひと文化系領域 准教授 阿知良洋平	平和学習におけるヒューマンイズムの再考	700	210	910
若手研究	ひと文化系領域 准教授 可香谷隆	動的接触角構造を伴う平均曲率流に対する幾何解析的研究	1,000	300	1,300
	もの創造系領域 准教授 KIM JIHOON	乾燥/再湿潤環境下におけるコンクリート耐久性評価：ナノスケールでの水分挙動解明	1,700	510	2,210
	しくみ解明系領域 助教 泉佑太	機動的災害リモートセンシングを目指したドローン搭載ポーラリメトリックSARの開発	1,600	480	2,080
	もの創造系領域 助教 瓦井智貴	終局状態を考慮した落石荷重を受けるFRP補強RC梁に関する耐衝撃設計手法の開発	1,200	360	1,560
合計		22件	32,200	9,660	41,860

《継続分》

(千円)

区分	研究代表者 所属・職・氏名	研究題目	直接経費 内定額	間接経費 内定額	合計
基盤研究(B)	もの創造系領域 教授 青柳 学	ハイブリッド超音波浮揚システムによる6自由度アクロバティック・マニピュレーション	2,000	600	2,600
	もの創造系領域 教授 川村 志麻	破砕性を示す火山灰質土からなる自然斜面の崩壊機構の解明と危険度評価システムの開発	2,500	750	3,250
	しくみ解明系領域 准教授 小林 洋介	植物との対話をモデル化した大規模トマト施設栽培グロウワーの判断シミュレータ	4,600	1,380	5,980
基盤研究(C)	もの創造系領域 教授 市村 恒士	都市公園リノベーションに資する造園業の地域課題解決型事業推進に向けた経営学的分析	500	150	650
	もの創造系領域 教授 今井 良二	冷媒流量を極限まで低減させる、薄液膜蒸発を利用した高密度除熱デバイスの開発	400	120	520
	もの創造系領域 教授 風間 俊治	バルプレスバルブの試作研究～液体の相転移・粘度変化を利用して～	900	270	1,170
	もの創造系領域 教授 小室 雅人	鋼繊維混入無孔性コンクリートの耐衝撃用途構造物への応用・展開	500	150	650
	もの創造系領域 教授 辻 寧英	目的特性を与えるだけで光デバイスを自動設計する多目的トポロジー最適設計法の開発	500	150	650
	もの創造系領域 准教授 加野 裕	集束表面プラズモンを利用した顕微複屈折測定法の開発と細胞異常診断への応用	700	210	910
	もの創造系領域 准教授 佐藤 信也	堤防やのり面におけるAIを用いた防災用光ファイバ計測	300	90	390
	もの創造系領域 准教授 永井 宏	埋戻し土の不確実性が新設杭の周面抵抗に及ぼす影響の解明と周面抵抗力の算定法の構築	600	180	780
	もの創造系領域 准教授 成田 幸仁	トラクションドライブの転がり疲労損傷メカニズム解明と疲労強度予測式の導出	600	180	780
	もの創造系領域 准教授 畠 中和明	航空機の姿勢制御に適用する流体的推力偏向ノズル内流れ場の理解と偏向性能の最適化	900	270	1,170

区分	研究代表者 所属・職・氏名	研究題目	直接経費 内定額	間接経費 内定額	合計
基盤研究(C)	もの創造系領域 准教授 船水英希	フローサイトメトリ法による血液凝固構造の完全な3D情報復元と新規血液診断法の創出	800	240	1,040
	もの創造系領域 准教授 真境名達哉	全室暖房完成時代のエンブティネスト期を迎えた住宅からみる寒地住宅の新たな可能性	600	180	780
	もの創造系領域 助教 浅田拓海	AI型路面測定の実用による地域の救急医療に資する舗装維持管理方策の提案	900	270	1,170
	もの創造系領域 助教 佐々木大地	金属の短寿命化促進条件の探索：非鉛系圧電セラミックス作製法創製に向けて	300	90	390
	もの創造系領域 講師 松本大樹	噴流群騒音の同期現象メカニズムを応用した騒音抑制法の開発	200	60	260
	しくみ解明系領域 教授 太田香	次世代無線システムの超低消費電力化を目指した通信制御技術	1,400	420	1,820
	しくみ解明系領域 教授 近藤敏志	教師データ作成を不要とする医用画像向け深層学習モデル転用技術の開発	1,300	390	1,690
	しくみ解明系領域 教授 佐伯功	Co-W拡散バリアコーティングの多成分系および実材料への展開と社会実装	1,000	300	1,300
	しくみ解明系領域 教授 中野英之	アゾベンゼン系分子ガラスのキラル光メカニカル挙動に与える環境場の影響	900	270	1,170
	しくみ解明系領域 教授 庭山聡美	対称ジエステルの環境に優しいモノ加水分解反応のメカニズム解明と高分子合成への応用	600	180	780
	しくみ解明系領域 准教授 神田康晴	新規脱硫触媒の耐硫黄性評価方法の開発と耐硫黄性発現のメカニズム解明	500	150	650
	しくみ解明系領域 准教授 倉重健太郎	深層強化学習による多目的環境下での調和的行動の実現	1,400	420	1,820
	しくみ解明系領域 准教授 黒澤徹	強相関超伝導物質群におけるペア密度波が創造する新奇量子状態の微視的探索	800	240	1,040
	しくみ解明系領域 准教授 澤田研	匂い分子結合タンパク質の生理機構の解析と薬剤輸送キャリアーへの応用	900	270	1,170
	しくみ解明系領域 助教 下村拓也	共通アニオン誘起によるイオン液体+イオン液体混合物の劇的な相挙動変化に関する研究	500	150	650

区分	研究代表者 所属・職・氏名	研究題目	直接経費 内定額	間接経費 内定額	合計
基盤研究 (C)	しくみ解明系領域 准教授 高瀬 舞	高感度表面増強旋光度計測法の開発と分子異性化のin situ可視化への応用	400	120	520
	ひと文化系領域 教授 曲 明	Moodleを活用したオンライン国際交流・協働型中国語教育モデルの開発	800	240	1,040
	ひと文化系領域 教授 清末 愛砂	離婚手続き時の養育プログラムの制度設計に関する政策提言－アジア地域における比較研究	1,100	330	1,430
	ひと文化系領域 教授 塩谷 亨	ポリネシア諸語における同系の前置詞の用法の対応及び差異に関する対照研究	300	90	390
	ひと文化系領域 教授 高橋 雅朋	枠付き曲線、枠付き曲面論の構築とその応用	600	180	780
	ひと文化系領域 教授 竹ヶ原 裕元	バーンサイド環の一般化とその乗法的性質の研究	1,300	390	1,690
	ひと文化系領域 教授 森田 英章	離散構造に付随するゼータ関数の基礎理論と応用に向けた展開	800	240	1,040
	ひと文化系領域 准教授 小川 祐紀雄	一般の自動車による広域センシングのための管理可能な情報収集プラットフォームの確立	600	180	780
	ひと文化系領域 准教授 小野 真嗣	既存英語語彙表の再活用に向けたユーザビリティ尺度による有効性測定と満足度調査	800	240	1,040
	ひと文化系領域 准教授 上村 浩信	異なる運動タイプを弁別可能なニオイセンシングシステムの開発	100	30	130
	ひと文化系領域 助教 石坂 徹	対話的プログラミング演習環境における自動採点システムの構築	100	30	130
挑戦的研究 (萌芽)	もの創造系領域 教授 関根 ちひろ	超高压技術が拓く高性能熱電変換材料の新たな開発方法	1,500	450	1,950
若手研究	もの創造系領域 准教授 立山 耕平	自由自在な変形を可能とする階層的メカニカル・メタマテリアルの創製	900	270	1,170
	もの創造系領域 准教授 趙 越	蜘蛛の巣の粘性物質の挙動解明のための光プローブ分析システムの新たな開発	400	120	520
	もの創造系領域 助教 井口 亜希人	次世代光回路要素のための双方向ビーム伝搬法の性質を活用した高速設計基盤の構築	300	90	390

区分	研究代表者 所属・職・氏名	研 究 題 目	直接経費 内 定 額	間接経費 内 定 額	合計
若手研究	もの創造系領域 助教 川 口 悟	深層学習を活用したボルツマン方程式 のグリッドレス直接数値解析法の開発	1,000	300	1,300
	もの創造系領域 助教 武 内 裕 香	結晶の磁場配向を利用した非侵襲痛風 診断システムの開発	1,300	390	1,690
	もの創造系領域 助教 藤 平 祥 孝	コンポーネント化したテクスチャ構造 を有した多層構造流体指の開発	900	270	1,170
	しくみ解明系領域 助教 徐 建 文	超低消費電力山岳救助支援システムの 研究開発	1,200	360	1,560
	ひと文化系領域 准教授 内 免 大 輔	臨界型非線形楕円型方程式における解 の集中現象の研究-余質量を伴う集中-	700	210	910
	ひと文化系領域 准教授 白 尚 燁	サハリンエウエンキ語の記述：サハリ ンにおける言語接触とその歴史的変遷 の解明	1,000	300	1,300
合 計		49件	42,800	12,840	55,640
総 合 計		71件	75,400	22,620	98,020

外部資金

民間等との共同研究の受入れ

研究代表者・職・氏名	相手方区分	金額(千円)
もの創造系領域 教授 清水 一道	中小企業	1,040
もの創造系領域 准教授 栗原 浩平	その他	1,500
もの創造系領域 准教授 境 昌宏	大企業	500
もの創造系領域 准教授 菅田 紀之	中小企業	455
もの創造系領域 准教授 中田 大将	大企業	1,820
もの創造系領域 助教 川口 悟	大企業	2,400
しくみ解明系領域 教授 大平 勇一	大企業	585
しくみ解明系領域 教授 近藤 敏志	大企業	1,300
しくみ解明系領域 教授 塩谷 浩之	中小企業	420
もの創造系領域 特任教授 樋口 健	大企業	429
合 計 (10件)		10,449

※大企業・中小企業の別は、中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条による。

受託研究等の受入れ

研究代表者・職・氏名	委託先区分	金額(千円)
しくみ解明系領域 教授 亀川厚則	大企業	7,684
しくみ解明系領域 准教授 上井幸司	地方公共団体	1,400
合 計(2件)		9,084

その他の補助金の受入れ

事業名	研究代表者・職・氏名	事業元	金額(千円)
2023年度自転車等機械振興事業	もの創造系領域 教授 今井良二	公益財団法人JKA	4,955
2023年度自転車等機械振興事業	もの創造系領域 教授 水上雅人	公益財団法人JKA	4,600
2023年度自転車等機械振興事業	もの創造系領域 助教 湊亮二郎	公益財団法人JKA	14,844
2023年度自転車等機械振興事業	しくみ解明系領域 助教 鈴木元樹	公益財団法人JKA	1,896
合計(4件)			26,295

奨学寄附金の受入れ

寄 附 者	目 的	金 額 (千円)
日本製鉄株式会社	工 学 研 究 助 成	500
日鉄テックスエンジ株式会社	工 学 研 究 助 成	300
日本住宅株式会社	工 学 研 究 助 成	1,000
株式会社旭ダンケ	工 学 研 究 助 成	400
千代田工営株式会社	工 学 研 究 助 成	700
公益財団法人高橋産業経済研究財団	工 学 研 究 助 成	3,000
パーソルAVCテクノロジー株式会社	工 学 教 育 助 成	100
一般社団法人日本鉄鋼連盟	工 学 研 究 助 成	1,400
一般社団法人日本鉄鋼連盟	工 学 研 究 助 成	750
株式会社ダイセル	工 学 研 究 助 成	500
日本銅学会	工 学 研 究 助 成	250
学校法人芝浦工業大学	工 学 研 究 助 成	450
株式会社ドーコン	工 学 研 究 助 成	500
札幌日信電子株式会社	工 学 教 育 助 成	100
合 計 (14件)		9,950

人 事

人 事 異 動

国立大学法人
室蘭工業大学長発令

発令年月日	異 動 内 容	氏 名	現 職
令和5年6月1日	<p style="text-align: center;">〈採 用〉</p> 大学院工学研究科 学術研究員 ものづくり基盤センター技術補佐員 ものづくり基盤センター技術補佐員 ものづくり基盤センター技術補佐員 ものづくり基盤センター技術補佐員 ものづくり基盤センター技術補佐員	JUNG SANGHYUN 清 水 琉 生 小 川 泰 聖 吉 田 光 希 横 井 天 駿 熊 倉 勇 朔	

学内会議

学内各種委員会等の開催

< 4月24日～5月25日 >

開催日時 令和5年5月9日(火)
会議名 第4回役員会

開催日時 令和5年5月10日(水)
会議名 第5回役員会

開催日時 令和5年5月10日(水)
会議名 第1回経営協議会

開催日時 令和5年5月11日(木)
会議名 第6回役員会

開催日時 令和5年5月11日(木)
会議名 第2回教育研究評議会

開催日時 令和5年5月23日(火)
会議名 第1回企画戦略会議

開催日時 令和5年5月24日(水)
会議名 第2回学長特命連絡会

学内行事

- 4月25日(火) 伊達開来高校との高大連携協定締結式
- 5月8日(月) 室蘭工業大学と厚真町が包括連携協力協定を締結
- 5月10日(水) 2023年度第1回コンピュータ科学フォーラムを開催
- 5月17日(水) NHK大学セミナー in室蘭工業大学
- 5月19日(金) 学内共同利用分析装置 定期見学会

学外行事

- 4月26日(水) 国立大学協会 令和5年度第1回理事会(東京)
- 4月28日(金) 令和5年度第1回国立大学協会北海道地区支部会議(札幌)
- 5月12日(金) COI-NEXT地域共創分野(育成型)「アシルトイタによる心と体に響く新しい食の価値共創拠点」チームがアイヌ伝承有用植物28種の試験栽培を開始(北海道白糠町)

編集後記

◆ 新型コロナウイルス感染症が感染症法上の第5類に引き下げられ、早2ヶ月が経ちました。コロナ関連の報道が少なくなってきましたが、マスクを外している学生、教職員はキャンパスを見渡しても少ないのが印象的です。約3年間のマスク生活が続いていたので、一気にマスクを外して生活を送ろうというのは、難しいのかもしれませんが、早くキャンパス内でマスクなしの笑顔が見られる日が訪れるのを願っています。ただ、学内のイベント開催は、コロナ前よりも活発に行われている印象があります。サークル活動においても、硬式野球部、鳥人間部などが各種メディアで報道されており、関係者以外から応援の声が多数聞こえてきております。ここからはあくまで持論なのですが、大学は研究だけ広報していれば良いと言われることがあります。確かに東大や京大など知名度も実力も一流の大学は、それで良いと思います。ただし、室工大は北海道から一步離れると、「どこの私大ですか?」とか「え、室工大って国立大学なの!」のようなことを言われることがあります。北海道では知名度はあるほうだと思いますが、私たち教職員は「井の中の蛙」状態なのかもしれません。「己を知れ」とまでは言いませんが、室工大の立場を十分理解した広報が大事であると考えます。

“それは、何か?”

先ほどのサークル活動の件もそうですが、学生生活や大学オリジナルグッズ（ジンギスカン鍋やワイングラスなど）、ムロびょん（最近学生間でファンクラブなどが結成されています）、地域間との交流イベントなど、研究とは少し離れている部分をコツコツと広報し、北海道以外の方に「室工大に興味」を持っていただけることが大事なことなのではないでしょうか。室工大のことを知らない受験生は、志望先の選択肢にも入らないのです。室工大に興味を持てば、きっと受験生はHP等で研究についても調べると思います。今後も引き続き「室工大に少しでも興味、関心を持ってもらう」ような仕掛けをどんどん実行していきたいと思いますが、それには教職員の力がマストとなります。お気軽にどのようなことでも良いので、アイデアがあれば総務広報課までお願いします。ただ、研究の発信は、確かに少ないので、頑張ります。

(Garoon : 総務広報課総務広報係、E-mail : koho@mmm.muroran-it.ac.jp)

(総務広報課総務広報係)



室蘭工業大学のキャラクター「ムロびょん」

■編集発行 室蘭工業大学総務広報課
〒050-8585 室蘭市水元町27番1号 電話 0143-46-5014

■印刷所 株式会社日光印刷
電話 0143-47-8308